

活動名 **丸太・小枝のアート** **(創作活動)**

ねらい ○ 丸太・小枝のアートを作ることにより、創作の喜びを味わうとともに、木の温もりに触れる。

条件

場所 大屋根広場・ワークショップ **時間** 1時間～2時間
(内容、人数に応じて変更有)

対象 小学高学年以上 **人数** ～100名程度

時期 春～秋 **天候** 雨天時可
(ただし、人数により制限有)

提出物 **書類** 用具貸出票 **経費** なし

準備物

貸出 のこぎり 万力
はさみ 小刀
きり 電動ドリル
グルーガン

団体準備 目玉シール 彫刻刀
紙やすり 軍手
(個人準備) グルースティック
ごみ袋 ビニル袋

展開

事前 作業の手順や使用する用具を確認する。
 ①材料を選ぶ。(※天気がよければ、先に周辺を散策して素材集めも可。)
 ②加工する。 (1) 太い枝は万力で固定してのこぎりで切る、細い枝ははさみで切る。
 (2) 枝の樹皮は、小刀で削り、模様を付ける。
 (3) 彫刻刀で彫って、飾りを付ける。
 (4) 細い穴はきりであける。太い穴は電動ドリルで先生にあけてもらう。
 (5) 切断面に紙やすりをかけて、なめらかにする。
 (6) レイアウトを考えて、グルーガンで木の実や小枝を接着する。
 (7) 目玉シールを貼る。 ※(1)～(7)は順不同

当日	流れ	まんたらめ貸出	団体準備	個人準備
	①材料を選ぶ(集める)			<input type="checkbox"/> 軍手
	②加工する (1)切る	<input type="checkbox"/> 万力 <input type="checkbox"/> のこぎり <input type="checkbox"/> はさみ		
	(2)削る	<input type="checkbox"/> 小刀		
	(3)彫る			<input type="checkbox"/> 彫刻刀
	(4)穴あけ	<input type="checkbox"/> きり <input type="checkbox"/> 電動ドリル(※学校、団体対応)		
	(5)やすり		<input type="checkbox"/> 紙やすり	
	(6)接着	<input type="checkbox"/> グルーガン	<input type="checkbox"/> グルースティック	
	(7)貼る		<input type="checkbox"/> 目玉シール	

事後	③作品持ち帰り			<input type="checkbox"/> ビニル袋
	④後片付け	<input type="checkbox"/> ほうき <input type="checkbox"/> ちりとり	<input type="checkbox"/> ごみ袋	
	⑤整理整頓			

安全管理 ・怪我や火傷防止のために、のこぎりや小刀、彫刻刀、グルーガンの扱い方を活動前に指導する。

配慮事項 ・飾り物の素材については、事前にまんたらめ職員と相談をして準備の仕方を検討する。
 ・活動をスムーズに進めるために、場の使い方や作業の手順を確認して、児童生徒の動線や引率者の配置を検討する。

参考資料



【共通】 手順や安全面の配慮を確認する。

丸木・小枝のアート
 ①(万力)に固定
 太い枝(のこぎり)
 細い枝(はさみ)
 で切る

②※ケガ注意!!
 ・(小刀)で
 木の皮をけずる
 ・(彫刻刀)で
 模様をほる

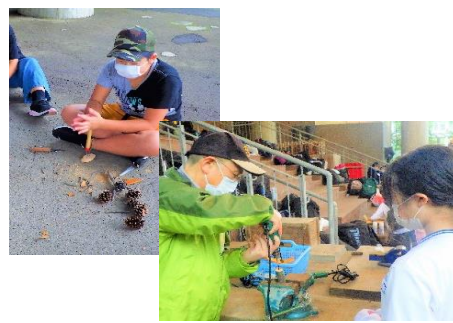
③穴あけ
 細い穴(きり)
 太い穴(ドリル)
 ④(やすり)
 なめらかにする

⑤(グルーガン)で
 かざいを付ける
 ※やけど注意!!
 ⑥(目玉シール)
 はりつけ 完成

【共通】 手順や注意点をボードで
 確かめながら作業を進める。



● 万力で枝をしっかり抑え、のこぎりで
 枝を切る。細い枝は、はさみで切る。



● 細い穴は、きりで、太い穴は、万力
 で枝を固定し、電動ドリルであける。



● グルーガンで飾りを接着する。目玉
 シールを貼り付けて完成。



● 木の実や紅葉など秋の素材を多く
 生かした作品。彩りも華やかになる。



【共通】 使い終わった場所は、みんな
 できれいに掃除する。



【共通】 使い終わった道具も、きれ
 いにそろえて整頓する。